

農業塾第7講 果樹栽培基礎(現地視察)



いちじく圃場の様子



梨圃場視察の様子



梨圃場の様子

今回は果樹の現地視察を行いました。はじめに、梨の園地へ移動。梨は品種ごとに収穫時期が異なり、盆前のこの時期は「幸水」が収穫中とのこと。盆明けより「豊水」「新高」「新興」「王秋」「愛宕」と順に収穫されていくとのこと。

つづいて、柿の園地を訪問。柿は比較的栽培が容易で、庭先でもよく栽培されています。栽培のポイントは、「害虫駆除」。柿の木には「ヘタムシ」や「イラガ」が発生するので適時防除してください。

最後にいちじくの園地へ移動。左右に手を伸ばしたような一文字仕立てにきれいに整枝されており、一番果が収穫直前でした。



苗を持ち帰る様子



講義の様子



柿圃場視察の様子

会議室にもどり...

キウイフルーツとかんきつの講義を行いました。キウイフルーツは、福岡県の生産量は日本で2番目、その内7割以上が「八女」産です。食物繊維やビタミン・カリウムを多く含み、女性の美容にも効果的なのでぜひ食べてみてください。

かんきつでは、美味しいミカンの見分け方など、豆知識いっぱいの楽しい講義となりました。

事務局の原からひとこと

**講義終了後に、塾生みなさまに梨を2玉と前回の講義で差し穂をした花の苗をプレゼント。
大変よろこんで頂きました。**